（別添資料１）

事業所名	療育支援きらめき 山崎教室	支援プログラム（参考様式）	作成日	2026 年 8 月 28 日

法人（事業所）理念	将来の自立した生活を見据え、一人ひとりの可能性を広げながら、多様な進路や生き方を選択できる力を育む支援を行います。													
支援方針	ワーキングメモリをはじめとした認知機能へのアプローチと、対人関係や集団活動を通じた社会性の育成を中心に支援を行います。また、一人ひとりのコミュニケーション面における強みや課題に応じた支援を実施し、将来の地域生活や社会参加に必要な力の向上を目指します。													
営業時間	平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり			
	学校休校日	9	時	0	分から	18	時	0	分まで					

		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	健康管理】 来所時や送迎時に健康状態の確認および検温を実施し、体調の変化を把握します。また、手洗い・うがいの習慣化を促すとともに、定期的な水分補給を行い、健康の維持・増進に努めます。 【生活】 身辺自立や持ち物の管理、活動への参加、整理整頓などの日常生活に必要な行動について、見通しを持って自主的に取り組めるよう、ルーティン化や時間の視覚的な提示を行います。また、おやつや昼食の購入機会を活用し、予算を意識した買い物や金銭の受け渡しなど、生活に必要なスキルの習得を支援します。 【食事】 クッキング活動や外出活動などの体験を通して、自分でできることを増やしながら、食に関する興味や関心を育みます。また、食育の機会を設けることで、食事に関する知識や望ましい食習慣の習得を支援します。
	運動・感覚	【運動・感覚】 手指の操作性や協調性の向上を目的として、視覚で情報を捉えながら指先を動かす課題や、細かな作業を取り入れた活動を実施します。 また、洗濯ばさみや紐通し、ビーズなどの教材を活用し、指先の巧緻性や適切な力加減を身に付けられるよう支援します。必要に応じてセラピーパテ等を用いた活動も取り入れ、手指機能の向上を図ります。 さらに、バランスディスクやボールを活用した活動を通して、バランス能力や体幹機能への働きかけを行います。加えて、レゴブロックやアイロンビーズ、バランスゲームなどの遊びを取り入れながら、楽しみながら身体の使い方や姿勢保持の力を育みます。
	認知・行動	【認知・行動】 認知機能の向上を目的として、様々なカリキュラムを活用し、得られた情報を整理・判断しながら適切な行動につなげる力を育みます。また、指示内容を理解し、その内容に沿って行動する経験を積み重ねることで、状況に応じた対応力の向上を図ります。 タブレット教材やプリント学習に加え、バランスストーン、ビーズ、洗濯ばさみ、ブロック等の教材を活用し、物の形や色の識別、図形の理解、空間認識などの認知能力の発達を支援します。 また、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通して、自身や他者の感情について理解を深めるとともに、感情を適切に表現し調整する方法を学ぶ機会を提供します。 さらに、アイロンビーズやレゴブロック、パズル、カードゲームなどの遊びを取り入れながら、楽しみながら考える力や判断力、問題解決能力の向上を支援します。
	言語 コミュニケーション	絵カードや視覚支援ツールを活用するとともに、指差しや身振り、ハンドサインなどの非言語的なコミュニケーション手段を取り入れ、意思や気持ちを伝える機会を増やします。 また、日々の活動や対人場面の中で、相手に分かりやすく伝える方法や適切な関わり方について支援を行い、コミュニケーション能力の向上を図ります。さらに、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通して、自身の感情や行動を理解し、状況に応じて適切に調整する力を育みます。 言葉での表現が難しい場合には、ヘルプカードや視覚的な支援ツール等を活用し、自分の困りごとや要望を伝えられる環境を整えます。一人ひとりの発達段階に応じて、無理なくコミュニケーション手段の幅を広げられるよう支援します。 また、各種カリキュラムを通して、文章の内容を理解し整理する力や、必要な情報を読み取る力の向上を目指します。記憶課題や推論課題、文章理解に関する活動などを取り入れながら、読解力の育成を支援します。
	人間関係 社会性	【人間関係・社会性】 ソーシャルスキルトレーニング（SST）を継続的に実施し、一人ひとりの課題や困りごとについて共に考えながら、適切な対応方法や対人スキルの習得を支援します。また、活動を振り返る機会を設けることで、自身の行動を客観的に捉え、より良い行動につなげられるよう支援します。 適切な行動や望ましい関わりができた際には、その努力や成果を認め、肯定的な評価を行うことで成功体験を積み重ね、自信や自己肯定感の向上につなげます。 遊びや集団活動の中では、相手への伝え方や関わり方を学ぶ機会を設けるとともに、勝敗や思い通りにならない場面での感情の調整方法やクールダウンの方法についても支援を行います。 また、課外活動や地域での活動を通して、集団生活に必要なルールやマナー、社会的な行動について学び、他者と協力しながら活動する力や社会性の向上を図ります。

家族支援	家族支援】 半年に1回の定期的な面談を実施するとともに、必要に応じて随時相談や面談の機会を設け、保護者との連携を図ります。 面談では、児童の発達状況や事業所での支援内容、家庭での様子や集団生活における状況等について情報共有を行い、成長や課題に応じた支援方法を共に検討します。 また、きょうだい児に関することを含め、子育てや家庭生活に関する様々な相談に応じ、必要な助言や情報提供を行うことで、家庭全体を支える支援に努めます。	移行支援	【移行支援・インクルージョンに向けた取組】 事業所での活動や支援を通して身に付けた力や望ましい行動が、学校や家庭、地域社会など様々な生活場面において発揮できるよう支援を行います。 また、学校や家庭との連携を大切にし、児童の特性や効果的な支援方法について情報共有を図ることで、一貫性のある支援につなげます。 さらに、地域や集団の中で安心して生活し、自分らしく参加できるよう、一人ひとりの状況に応じた支援を行い、社会参加やインクルージョンの推進を目指します。
地域支援・地域連携	【関係機関との連携】児童一人ひとりに対して適切な支援を提供できるよう、学校等の教育機関、医 療機関、児童相談所をはじめとする関係機関との連携を行います。 また、必要に応じてケース会議や支援会議へ参加し、支援方針や課題について情報共有を図ることで、関係機関と協力しながら継続的かつ一貫した支援の実施に努めます。	職員の質の向上	職員研修：新人研修、支援者研修等、定期的に職員に向けた研修を行う。 グループワークを通して共通認識を持つ マナー研修、リーダー研修（伝え方等を含む） 虐待防止・身体拘束に関する研修、事故防止・感染症対策に関する研修、 災害に関する研修・訓練の実施
主な行事等	【主な行事・地域活動等】 制作活動やクッキング活動、季節に応じた行事をはじめ、SSTグループワークや課外活動など、多様な体験の機会を提供します。 課外活動では、工場見学や収穫体験、博物館見学等を取り入れ、実際の体験を通して社会や地域への理解を深めるとともに、新たな知識や興味・関心を広げられるよう支援します。 また、様々な活動への参加を通して、主体性や協調性、社会性を育みながら、豊かな経験の積み重ねにつなげていきます。		